

# 令和元年度主要事業の取り組みについて

1. 観光産業をはじめ産官学の幅広い連携によるオールジャパン体制構築と国民運動の展開 \_\_\_\_\_ 2
  - (1) 政策提言事業
    - ① 観光先進国実現に向けた活動
    - ② 観光予算に関する要望事項の提案
    - ③ 二次交通の充実に向けての課題の発掘と支援強化
    - ④ 観光立国タウンミーティングや異業種交流セミナーの開催
    - ⑤ 観光教育や心のバリアフリーの推進
  - (2) 広報啓発事業
    - ① 広報WEBサイト及びメールマガジン等による広報
    - ② 季刊「観光とまちづくり」の発行
2. 産業と地域の基盤・担い手となる優秀な人材の育成 \_\_\_\_\_ 4
  - ① 日本観光振興アカデミーによる人材育成支援
  - ② 観光人材育成研修教材と講師の充実
  - ③ 産業界を担うトップ人材の育成（トップセミナーの実施）
  - ④ 観光及び産業界への理解を促す大学への寄付講義の実施
  - ⑤ 各種人材研修プログラムの実施
3. 国際競争力のある観光地域づくりと観光の基幹産業化に向けての支援 \_\_\_\_\_ 5
  - ① 魅力ある観光地域づくり推進モデル事業の実施
  - ② 観光産業の生産性向上の支援
  - ③ マーケティング支援などの日本版DMO推進のための各種事業の実施
  - ④ 広域観光ルート整備促進と広域観光の推進
  - ⑤ 海の観光資源の活用
  - ⑥ 地域魅力の発信に対する顕彰事業
4. 新たな観光魅力創出による観光需要の創造 \_\_\_\_\_ 9
  - ① AI、ICTなど新しいテクノロジーの導入支援
  - ② 働き方改革など休暇制度の改革による観光需要の創造
  - ③ テーマ別観光・体験ツーリズム（産業観光、ガストロノミーツーリズム、酒蔵ツーリズム等）などによるデスティネーションブランディング
  - ④ ナイトタイムエコノミーなどコンテンツ充実による滞在の長期化
  - ⑤ ラグビーワールドカップ日本大会や東京オリ・パラを契機とした誘客・受入に関する取組情報の提供
  - ⑥ 観光情報の提供と災害時における情報提供のあり方の検討
5. 双方向交流の拡大と国際交流の推進 \_\_\_\_\_ 11
  - ① ツーリズムEXPOジャパンの開催
  - ② 日台観光サミットの開催及び台北国際旅行博出展支援
  - ③ UNWTO、WTTCとの連携による日本のツーリズムの世界への情報発信
  - ④ 訪日外国人旅行者受入支援
6. 組織活動事業 \_\_\_\_\_ 12
  - ① 会員や関係機関の実施する各種行事への支援
  - ② 関係諸団体との連携、協議
  - ③ 災害等による風評被害払拭の支援
  - ④ 観光地緊急支援事業
7. 支部事業 \_\_\_\_\_ 12

# 1. 観光産業をはじめ産官学の幅広い連携によるオールジャパン体制構築と国民運動の展開

## (1) 政策提言事業

### ① 観光先進国実現に向けた活動（日本財団基金事業）

自治体、観光関連産業、製造、文化及び金融等の幅広い産業の団体・企業約120組織によって構成される「観光立国推進協議会」を開催し、観光先進国推進について協議を行う。なお、専門部会は観光教育専門部会、DMO専門部会を開催するとともに、本年度から二次交通(地域交通)専門部会を設け、各分野における課題検討を行っている。

#### ●第7回観光立国推進協議会

日時：令和2年1月21日(火)15:00～16:30

場所：東京都港区

#### ●DMO専門部会

第1回：令和元年9月19日(木)15:00～17:00

第2回：令和2年3月5日(木)15:00～17:00(予定)

#### ●観光教育専門部会

第1回：令和元年9月11日(水)16:00～17:00

第2回：令和2年3月11日(水)16:00～17:00(予定)

#### ●二次交通(地域交通)専門部会

第1回：令和元年6月25日(火)10:00～12:00

第2回：令和元年11月22日(金)15:00～17:00

第3回：令和2年3月10日(火)15:00～17:30(予定)



《観光立国推進協議会の様子》

### ② 観光予算に関する要望事項の提案

我が国の観光振興に関する中枢機関としての役割を果たし、観光先進国の実現を図るため必要な事業について、当協会企画委員会から観光庁に対して、予算に盛り込むべき事項を提案した。

### ③ 二次交通(地域交通)の充実に向けての課題の発掘と支援強化（日本財団基金事業）

#### ●二次交通(地域交通)モデル事業

岩手県花巻市をモデル地域として、基礎調査・ヒアリング調査・検討会議等を通じて、地域交通という側面を考慮しながら二次交通(地域交通)に関する課題を解決していく。

#### ●二次交通(地域交通)空白地域調査事業

東北エリアをモデル地域として、特に路線バスのデータと観光資源のデータを照らし合わせることにより、二次交通(地域交通)の空白地域が実態と合っているか検証を行う。

### ④ 観光立国タウンミーティングの開催や異業種交流セミナーの開催（日本財団基金事業）

#### ■異業種交流セミナーの開催

「地域と企業の事業連携創出ミーティング」を開催し、地域の魅力向上をサポートする企業と、地域の事業連携を推進した。

#### ●令和元年度「地域と企業の事業連携創出ミーティング」

日 時：令和元年6月13日(木)

会 場：東京都港区

参加者：(企業側)8団体14名 (地域側)30団体34名

## ⑤ 観光教育や心のバリアフリーの推進（日本財団基金事業）

### ■観光教育推進事業

旅の意義、楽しさ、旅の効用、ツーリズム産業の重要性（経済波及効果）を通じて、国際理解、環境、職業感について教示するとともに、ツーリズム産業の認識度向上を目的としての事業推進に向け、平成30年度に作成した学習教材を利用したモデル授業や普及啓発を継続して実施した。

#### ●モデル授業の実施

日時：令和元年9月26日（木）

場所：埼玉県秩父市吉田小学校



《吉田小学校でのモデル授業の様子》

### ■心のバリアフリー啓発事業

国民一人一人、またツーリズム産業従事者が高齢者や障害者及び外国人に対する必要な配慮を正しく理解し、適切に実践できる取り組みを検討する。「外国人に対する心のバリアフリー」の解消を目的に、飲食店及びバス事業者に対して、啓発用のツールを作成・配布し、現場においての有効活用を促進した。



## (2) 広報啓発事業

### ① 広報WEBサイト及びメールマガジン等による広報（一般事業）

当協会のWEBサイト (<http://www.nihon-kankou.or.jp/home/>) にて、当協会事業の実施状況の発信を行うとともに、会員専用ページにて、観光に関する統計データの提供を行っている。また、会員メールマガジンにて、当協会及び会員の実施する事業や国の観光政策等の情報を発信している。

### ② 季刊「観光とまちづくり」の発行（宝くじ協会助成事業）

観光情報誌「観光とまちづくり」を年4回発行している。各地域における先進的取り組みや観光魅力の創出事例などの紹介を行うことにより、地域の観光振興を支援する。

#### ●令和元年度発行計画

- ・春号 4月26日発行 特集：これからの地域ブランディング
- ・夏号 7月10日発行 特集：観光地の危機管理
- ・秋号 10月10日発行 特集：温泉地復活の秘訣
- ・新年号 1月30日発行 特集：観光型MaaSの可能性

## 2. 産業と地域の基盤・担い手となる優秀な人材の育成

### ① 日本観光振興アカデミーによる人材育成支援（全国広域観光振興事業）

日本観光振興アカデミーにおいて、観光地域づくりに必要とされる中核的な人材を育成するため、きめ細やかな研修を地域が主体的に実施するための支援を行う。今年度は、公募審査の結果、令和元年7月から令和2年3月までの間に、観光地域づくり人材育成研修を20団体(重複を含む)実施する。研修メニューごとの実施団体は次のとおり。

#### i 観光地域づくりのための組織づくり（日本版DMO形成）（6）

- ・公益財団法人群馬県観光物産国際協会 ・公益社団法人やまなし観光推進機構
- ・公益社団法人三重県観光連盟 ・栗東市 ・公益社団法人岡山県観光連盟
- ・公益社団法人ツーリズムおおいた

#### ii. 魅力ある観光地域づくりのための人材育成（1）

- ・一般社団法人登別国際観光コンベンション協会

#### iii. 観光地域づくりのマーケティングとコンテンツづくり（3）

- ・一般社団法人愛知県観光協会 ・公益社団法人鳥取県観光連盟 ・北九州市

#### iv. 新たなツーリズム領域（産業観光・エコツーリズム・スポーツツーリズム等）（2）

- ・山形県観光物産協会 ・十日町市

#### v. インバウンドの受入整備（6）

- ・公益財団法人岩手県観光協会 ・南砺市 ・福井市
- ・福山観光キャンペーン実行委員会 ・公益社団法人香川県観光協会
- ・（一社）愛媛県観光物産協会

#### vi. 危機管理・災害時の緊急対応のテーマに限定したプログラム（2）

- ・神奈川県 ・一般社団法人富士五湖観光連盟

### ② 観光人材育成研修教材と講師の充実（全国広域観光振興事業）

観光地域づくりにとって必要とされる中核的な人材を育成するため、多様なメニューを取り揃えた人材育成プログラムの策定・提示、講師紹介等をWEBサイト「観光地域づくり研修ナビ（<http://www.nihon-kankou.or.jp/jinzai/>）」を通じて行うとともに、研修教材や講師の充実を図る。

### ③ 産業界を担うトップ人材の育成（一般事業）

次世代のトップマネジメントを担う人材の育成を目的に、旅行業、運輸業等の観光関連企業や地方の旅館・ホテルの経営者等を対象にしたトップセミナーを首都大学東京と共催する。

#### ●第9回観光経営トップセミナー

- ・日時：（講 義）令和元年7月22日（月）～26日（水）  
8月19日（月）～22日（木）  
（サイトビジット）令和元年7月25日（木）、26日（金）  
（論説文発表）令和元年12月13日（金）
- ・場所：（講 義）東京都千代田区  
（サイトビジット）神奈川県箱根町  
（論説文発表）東京都港区
- ・内容：業界経営者・大学教授等による講義、実地研修



《開講式の様子(校長訓辞)》

#### ④ 観光及び産業界への理解を促す大学への寄附講義の実施（一般事業）

観光行政の幹部、ツーリズム産業界の第一線で活躍している経営幹部及び実務経験者、また観光関係の学識経験者を大学に招いて、オムニバス形式やグループ研究にて大学生に観光を学んでもらう寄附講義、提携講座を開講する。

（前期課程）京都大学

（後期課程）首都大学東京、一橋大学、山形大学

#### ⑤ 各種人材研修プログラムの実施（日本財団基金事業）

観光立国の実現に向けて、観光産業を我が国の成長に資する基幹産業とするため、観光人材の育成・強化を図る。具体的には、産学官から参加者を募り、観光経営における多種多様な課題を共有し、それぞれの立場から意見交換を行う「観光経営研究会」を年間2回程度開催する。

- ・第6回観光経営研究会「持続可能な観光地とするための危機管理」

日 時：令和元年7月10日(水)14：00～17：00 参加者：34名

- ・第7回観光経営研究会「訪れたくなるまちづくりと合意形成について」

日 時：令和2年1月30日(木)14：00～17：00 参加者：30名

### 3. 国際競争力のある観光地域づくりと観光の基幹産業化に向けての支援

#### ① 魅力ある観光地域づくり推進モデル事業の実施（一般事業・日本財団基金事業）

特に先進的かつ他の模範となり、DMO形成をより地域をモデル地域として採択し、支援を行う。

##### ■ 地域観光支援事業（一般事業）

都道府県レベルのDMOを対象に、特に先進的かつ他の模範となり、DMO形成をより促進するモデル地域を募集し、支援する。

##### ● 支援地域

- i 一般社団法人岐阜県観光連盟

「地域観光マーケット導入事業」

- ii 一般社団法人イーストとくしま観光推進機構・一般財団法人徳島県観光協会

「Night time economy活性化へ！徳島発魅力発信プロジェクト」

##### ■ モデル地域事業（日本財団基金事業）

地域DMOおよび地域連携DMOを対象に、特に先進的かつ他の模範となり、DMO形成をより促進するモデル地域を募集し、支援する。

##### ● 支援地域

- i 一般社団法人八ヶ岳ツーリズムマネジメント

「住民満足度×経済波及効果分析プロジェクト」

- ii 一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都 DMO）

「海の京都 持続可能な産業文化遺産観光を創る～食と食文化から観る地域の魅力～」

#### ② 観光産業の生産性向上の支援

国内外旅行者の宿泊予約・実績データや宿泊客の属性データをマーケティングデータとして利用可能とする「観光予報プラットフォーム」を整備し、各地域のDMO機能向上を支援する。



### ③ 人材活用などの日本版DMO推進のための各種事業の実施

#### ■ DMO形成支援事業（全国広域観光振興事業）

WEBサイト「DMOなび」(<http://www.nihon-kankou.or.jp/dmo>)では、DMO支援情報、DMO先進事例を紹介し、国内におけるDMOの普及啓発と形成支援を実施するとともに、DMO候補法人の中から財源確保に向けて積極的に事業を展開しているDMOでの既存組織同士の役割分担やKPI・PDCAの仕組みなどについてヒアリング調査を行い、「DMOなび」を通じて事例報告を行う。

#### 【ヒアリング調査実施予定団体】

- ・（一財）丘のまちびえい活性化協会（北海道）
- ・（株）かまいしDMC（岩手県）
- ・（一社）佐渡観光交流機構（新潟県）



#### ■ 地域観光推進体制強化事業（日本財団基金事業）

DMOの現状と課題抽出を目的としたDMO実態調査を継続して実施する。また、テーマを設定し、国内外の先行事例のヒアリング調査や、現地調査を行う。

#### ● DMO実態調査の実施（アンケート調査、ヒアリング調査）

日本版DMO（候補）法人等を対象に、組織の状況、事業の取り組み等について実態を把握するためのアンケート調査を行う。

- ・ 調査期間：令和2年1～3月
- ・ 調査内容：役職員構成・人材、課題など
- ・ 調査対象：日本版DMO法人・候補法人 267法人（令和2年1月14日時点）

#### ● DMOにおける人材に関する調査の実施

DMOにおける人的資源に関して、関係各所へのヒアリング等を通じて実態や課題とその解決策等について調査した。

- ・ 調査期間：令和2年1～2月
- ・ 調査内容：DMOにおける人材の配置、育成、民間企業との効果的な人材出向
- ・ 調査対象：日本版DMO法人150法人（令和2年1月14日時点）

### ④ 広域観光ルート整備促進と広域観光の推進（全国広域観光振興事業）

全国各地で地域が主体となって、地域の魅力を発信するため、歴史的な価値や文化的な意義等を共通のテーマ（世界遺産、日本遺産、北前船等）として、地域間連携、地域間交流を図る新たな広域観光振興の取組に対し、フォーラムやシンポジウムの開催等を通じて事業を推進する。

#### ● 第6回世界遺産サミットの開催

- ・ 開催日：令和元年11月21日（水）～22日（木）
- ・ 場 所：栃木県日光市

#### ● 北前船寄港地フォーラムの開催

以下のフォーラムへの参画、役職員の派遣等を通じた開催支援を行う。

- ・ 第27回北前船寄港地フォーラムin庄内・山形  
開催日：令和元年9月11日（水）～12日（木）  
場 所：山形県酒田市・鶴岡市
- ・ 第28回北前船寄港地フォーラムin小樽・石狩  
開催日：令和元年10月19日（土）～20日（日）  
場 所：北海道小樽市・石狩市

- ・第29回北前船寄港地フォーラムin鹿児島  
開催日：令和2年1月31日(金)～2月1日(土)  
場 所：鹿児島県鹿児島市
- ・第30回北前船寄港地フォーラムin浜田(予定)  
開催日：令和2年3月14日(金)～15日(土)  
場 所：島根県浜田市

### ⑤ 海の観光資源の活用 (日本財団基金事業)

海を活用した観光推進事業 (日本財団基金事業)

クルーズ発着港まで航空機で行き、乗船してクルーズ旅行を楽しむ「フライ&クルーズ」に着目し、発着港周辺地域の消費拡大等に向け、沖縄県宮古島市をモデルとして関係者による意見交換やインフルエンサーを活用した調査を実施した。

また、マリンアクティビティへの関心をより一層高めるため、世界最大級の旅の祭典ツーリズムEXPOジャパンに出展し、マリンアクティビティの魅力を発信するとともに、マリンアクティビティの普及推進活動に使用する動画を制作し、同出展ブースで放映するなどマリンアクティビティに関する需要拡大に努めた。

### ⑥ 地域魅力の発信に対する顕彰事業 (全国広域観光振興事業)

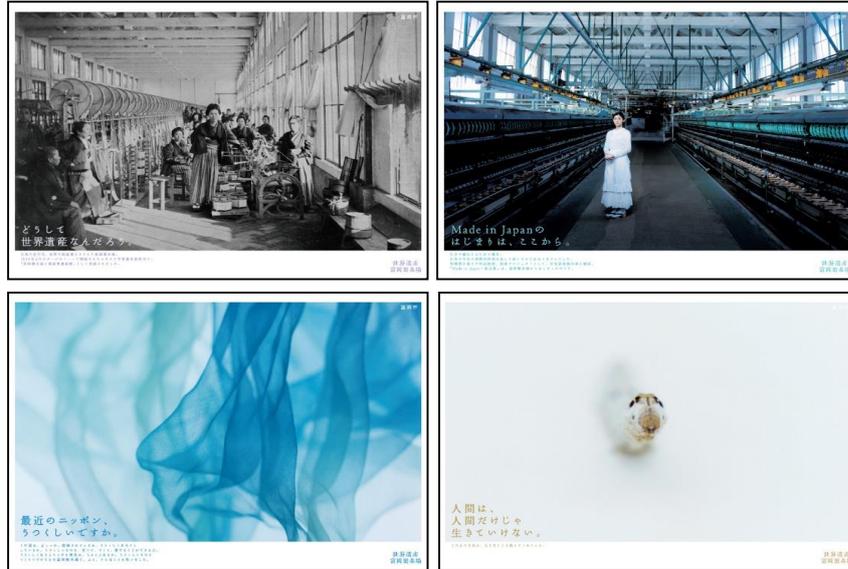
地域の魅力を表現し、旅行者を地域へと誘う観光ポスター等の観光宣伝ツールの質的向上を図るとともに、地域魅力を消費者に周知するため、公募により観光ポスターコンクールを実施した。さらにWEBサイトでの公開、駅頭やイベントを活用した作品展を開催し、作品の紹介を通じて地域のPRを行う。

#### ●第67回日本観光ポスターコンクールの審査結果

- ・専門審査会：平成31年3月20日(水)開催
- ・審査結果：次表のとおり

賞	作 品 名	出 品 者 名
国土交通大臣賞	世界遺産 富岡製糸場	群馬県 富岡市
総務大臣賞	「秋田県の里」集中プロモーション 『行け、行け、アキタ。』	秋田県
観光庁長官賞	渥美半島田原市の四季の魅力	渥美半島観光ビューロー
日本観光振興協会会長賞	Photogenic City 室蘭	室蘭観光推進連絡会議
インバウンド賞	「GO! OGA! (英語版)」	東日本旅客鉄道株式会社 秋田支社
審査員特別賞	愛知デステーションキャンペーン 未来クリエイター愛知 想像を超える旅へ。	JRグループ
審査員特別奨励賞	あなたの六合                      こなたの六合	群馬県 中之条町
入 賞	JEWELRY ICE (ジュエリーアイス)	北海道 豊頃町観光協会
	福滋県境 鉄道遺産回廊 「長浜、敦賀、南越前」	長浜市・敦賀市・南越前町 観光連携協議会

<国土交通大臣賞> 『世界遺産 富岡製糸場』 (群馬県富岡市)



<総務大臣賞> 『「秋田犬の里」集中プロモーション『行け、行け、アキタ。』』 (秋田県)



● 表彰式

令和元年6月7日(金)開催の「公益社団法人日本観光振興協会通常総会」(会場：東京プリンスホテル)において、第67回日本観光ポスターコンクールの表彰式を行った。

● 優秀作品展の実施

下記の日程で優秀作品展を開催する。

i 優秀作品展

- ・愛知県名古屋市 (JR名古屋駅 中央コンコース イベントスペース)  
期間：令和元年7月12日(金)～13日(土)
- ・東京都千代田区 (JR東京駅丸の内側通路)  
期間：令和元年8月27日(火)～9月2日(月)
- ・大阪府大阪市 (曽根崎地下歩道PRコーナー)  
期間：令和元年10月5日(土)～18日(金)

ii 作品掲出

- ・羽田エアポートビジョンでの掲出  
期間：令和元年9月9日(月)～18日(水)
- ・KITTE MARUNOUCHIでの掲出  
期間：令和元年7月20日(土)～24日(火)

● 第68回日本観光ポスターコンクールの実施

平成31年1月から令和元年12月までの間に制作されたもの(予定を含む)で、地域の観光振興に繋がることが、明確に読み取れるポスターを対象とし、第68回日本観光ポスターコンクールにおいて作品を募集した(募集期間は令和元年10月から12月)。

## 4. 新たな観光魅力創出による観光需要の創造

### (1) 観光需要創造事業

#### ① AI、ICTなど新しいテクノロジーの導入支援

訪日旅行客の旅行形態の個人旅行化と、国内各地域への移動範囲の広がりに伴い、二次交通自体の整備やこれに伴う情報インフラの整備は、観光関連業界、運輸関連業界、DMO等にとって特に関心の高い分野となっている。そこで、二次交通整備の一環として、自動運転やAIの二次交通への活用の検討や、MaaS (Mobility as a Service) に関するセミナーをツーリズムEXPOジャパン「ツーリズムプロフェッショナルセミナー」で行った。また、季刊「観光とまちづくり」の特集として取り上げた。

#### ② 働き方改革など休暇制度の改革による観光需要の創造 (一般事業)

連続休暇の取得促進と国内旅行の需要喚起のため、国民の休暇・旅行に関する意識・動向調査を行い、メディアや関係団体への情報提供や政策提言策定の一助とした。

また「海の日」等、3連休制度の普及を図る取り組みとして、観光関係団体・企業とともに、ポスター作成・掲出等による「海の日」の意義についての国民理解の増進、ホームページ等での消費者に対しての情報提供や海に関する旅行商品造成・販売などによる国民の海に親しむ機会の拡大などを行う。

#### ③ テーマ別観光・体験ツーリズム (産業観光、ガストロノミーツーリズム、酒蔵ツーリズム等) などによるデスティネーションブランディング (全国広域観光振興事業)

近年、旅行者及びそのニーズも多様化してきており、各地においてエコツーリズム、産業観光、酒・食(ガストロノミー)、アニメやエンターティメント、医療などと連携したいいわゆるニューツーリズムが注目されている。

当協会が長年かけて開発してきた産業観光については、先進地事例・日本のテクノロジーの紹介や産業観光に取り組む地域や企業の情報交換の場の提供など地域に向けた周知・普及を行うとともに、他分野についても重点的に支援を行う。

##### ●全国産業観光フォーラムの開催

名称：第19回全国産業観光フォーラム

開催日：令和元年10月25日(金)

開催地：大阪市住之江区 インテックス大阪

主催：全国産業観光推進協議会、(公社)日本観光振興協会

テーマ：「産業観光のビジネスモデルについて」

##### ●産業観光まちづくり大賞(第13回)の実施

産業観光を通じたまちづくりに寄与した地域を顕彰する。

主催：全国産業観光推進協議会、(公社)日本観光振興協会

後援：経済産業省、観光庁

募集期間：令和元年5月15日(水)～7月24日(水)

選考：審査委員・事務局による事前審査及び審査委員会を9月5日に開催

表彰式：令和元年10月25日(金) 全国産業観光フォーラム会場にて

##### ●酒蔵ツーリズム

・多言語による日本酒醸造説明ツールの作成

・日本酒フェア(日本酒造組合中央会主催)、ツーリズムEXPOジャパンへ2019への出展

・モデル地域推進事業(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社)

#### ④ ナイトタイムエコノミーなどコンテンツ充実による滞在の長期化 (日本財団基金事業)

近年「モノ消費」から「コト消費」の変化への対応がますます重要になる中、各地域の産業等と連携し、旅行消費と強い相関がある滞在時間の長期化を促す必要がある。そのためには、文化や自然など地域固有の観光資源や夜間の時間帯などを活用した体験型観光コンテンツを充実させ、新たな観光需要の創造を図るため、モデル地域を選定し事業を実施した。

⑤ ラグビーワールドカップ日本大会や東京オリ・パラ等を契機とした 誘客・受入に関する取り組み情報の提供（日本財団基金事業）

東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、ますます重要となる観光ボランティアガイドの技術向上、育成を支援するため、観光ボランティアガイド組織同士の連携強化及び課題解決、成功事例の共有等を目的とした「都道府県観光ボランティアガイド連絡協議会代表者会議」を実施する。

⑥ 観光情報の提供と災害時における情報提供のあり方の検討（日本財団基金事業）

前述の観光経営研究会で検討を行ったほか、季刊「観光とまちづくり」において観光地における危機管理に関する特集を組み、検討を行う。

(2) 観光情報収集・情報提供システム整備事業

① 「観るなび」による観光情報の提供（一般事業、全国広域観光振興事業）

一般消費者、企業等の観光情報についてのニーズに対応して、全国観光情報データベースの整備・運営を行うとともに、観光情報の流通拡大を図り、観光情報の収集・提供体制の整備を行っている。

また、国内観光ポータルサイト「全国観るなび-mirunavi-」において観光情報の提供を行う。

● 全国観光情報データベースの整備・運営

都道府県、市区町村の協力を得て収集した約13万件の地域観光情報と季節情報を整備する。

● 地域観光情報の流通網の拡大

全国観光情報データベースの自動配信システムを活用した地域観光情報の効率的な提供を行うとともに、一般消費者等のニーズに対応したデータの整備を行い、地域観光情報の流通網の拡大を図る。

● 国内観光ポータルサイト「全国観るなび-miru navi-」等の整備・運営

地域観光情報やSNSと連携した地元情報、着地型旅行商品情報、季節情報等を「全国観るなび-miru navi-」サイトにより提供するとともに、英語版サイト「Must-see Japan」を通じ、季節情報等を英語にて提供する。

(3) 調査研究事業

① 観光総合調査（観光の実態と志向）の実施（日本財団助成事業）

昭和39年以来、国民の観光需要の動向等についての観光総合調査（観光の実態と志向）を行い、その特徴を時系列で把握するとともに、年次傾向を明らかにする。

● 第38回観光総合調査

- ・調査時期：令和元年10月
- ・サンプル数：20,000サンプル
- ・調査項目：宿泊観光旅行の過去1年間の実態と今後1年間の志向

② 国や地方自治体等からの受託事業の実施

国や地方自治体等からの受託事業として、国内観光振興に関する調査・分析、地域における観光客数実態調査の実施や観光戦略の策定などを行う。

③ 刊行物の発行

観光地域づくりを推進する上で必要となる基礎的データを収集した刊行物を発行する。

- ・「数字でみる観光」：現状の観光に関する情報について、図表を用いてコンパクトにまとめたハンドブック。（令和元年9月発行）
- ・「観光の実態と志向」：上記の観光総合調査の結果をとりまとめ、過去のデータから時系列に分析した一冊。（令和2年3月発行予定）

## 5. 双方向交流の拡大と国際交流の推進

### 観光交流活性化事業

#### ① ツーリズムEXPOジャパンの開催（全国広域観光振興事業）

海外旅行・訪日旅行及び国内旅行振興のため、全産業と地域の力を結集して実施する世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン2019 大阪・関西」を開催した。

- ・主 催：(公社)日本観光振興協会、(一社)日本旅行業協会、日本政府観光局
- ・テーマ：「私の旅は、次のステージへ。」
- ・期 間：令和元年10月24日(木)～10月27日(日)
- ・場 所：大阪市住之江区 インテックス大阪/ハイアットリージェンシー大阪
- ・出展者：国内724小間・海外604小間の団体
  - ・その他171小間・合計1,499小間
- ・来場者数：151,099人



《出展の様子》

#### ●第5回ジャパン・ツーリズム・アワードの実施

「ツーリズムEXPOジャパン」とのシナジー効果により、国内・海外の団体・組織・企業の持続可能で優れた取り組みを表彰することで、ツーリズム業界の発展・拡大に寄与することを目的として実施した。

- ・応募総数：209件
- ・選 考：第5回ジャパン・ツーリズム・アワード審査会（審査委員長：本保芳明国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所代表、首都大学東京特任教授）において、以下のとおり受賞団体を選定する。
- ・表彰式：日時：令和元年10月24日(木)TEJ2019 開会式後  
場所：大阪市・ハイアットリージェンシー大阪

#### ② 日台観光サミット及び台北国際旅行博出展支援（全国広域観光振興事業）

##### ●日台観光サミットの開催（全国広域観光振興事業）

日台の双方向観光交流拡大を目指し、日台双方の観光関係団体、航空会社、旅行会社等のトップレベルによる意見交換等を行う「日台観光サミット」は、毎年日本・台湾交互に開催している。第12回サミットは、富山市において開催し、①日台双方の新たな魅力の創出や航空路線の充実による地方都市への誘客拡大、②経済・スポーツ・文化・歴史等による観光交流の推進、③若年層の双方向交流の拡充、④商談会の開催や旅行博事業等での連携強化による日台双方向でのPR推進などを軸とした日台観光サミット・富山宣言に合意した。来年は、台湾の桃園市での開催を予定している。

- ・日 時：令和元年5月23日(木)～26日(日)
- ・場 所：富山市 ANAクラウンプラザホテル富山ほか
- ・参加人数：216名(日本側103名・台湾側79名・富山県関係者34名)

##### ●台北国際旅行博出展支援（全国広域観光振興事業）

台湾最大の旅行博である台北国際旅行博(ITF)において、当協会が日本側出展の事務局を務め、各都道府県、都道府県観光協会(連盟等)、観光事業者等と一体となって形成される日本ゾーンの出展とりまとめや主催者と日本ゾーン各団体との連絡調整等を行った。

- ・期 間：令和元年11月8日(金)～11月11日(月)
- ・会 場：台湾台北市 南港展覽館
- ・主 催：財団法人台湾観光協会
- ・総出展者：60か国・地域 1,700ブース

### ③ UNWTO及びWTTCとの連携による日本のツーリズムの世界への情報発信（日本財団基金事業）

UNWTOが推進する事業での協力や、UNWTOが世界各地で展開している先進事例の日本における発信・普及や、我が国の観光先進事例の世界への発信ならびに人材面での協力を通じて日本の地域を積極的に支援する。特に2017年から取り組んでいるガストロノミーツーリズムについては、日本の事例等を調査し世界に発信するとともに、関係機関と連携して国内普及等を行う。

#### ●ガストロノミーツーリズム・国内シンポジウムの実施

長野県山ノ内町にて令和2年10月19日に開催を予定していたが、台風19号の影響により、やむを得ず中止した。

### ④ 訪日外国人旅行者受入支援（日本財団基金事業）

訪日外国人旅行者受け入れに取り組む地域に対して地域の現状に沿った調査と受け入れ支援に向けた意見交換の場を設け、地域における外国人旅行者受け入れ体制を支援する。今年度は下記の通り事業を行う。

- ・訪日外国人受け入れ懇談会 令和元年9月29日(日)～30日(月) 愛知県蒲郡市
- ・メディア向けPRキットの作成 青森県八戸市

## 6. 組織活動事業（一般事業、全国広域観光振興事業、日本財団基金事業）

### ① 会員や関係機関の実施する各種行事への支援

諸会議及び各種委員会の開催、また会員や関係機関の実施する行事の支援や連携、協議を行う。令和元年度（第56回）通常総会を令和元年6月7日（金）に開催した。また、理事会を年3回、全国広域観光振興事業を実施するにあたり運営評議会を年2回開催する。

### ② 関係諸団体との連携、協議

関係する事業への当協会後援名義等による支援や、メールマガジン・協会サイトなどで告知宣伝を行ったほか、観光立国推進協議会専門部会などによる協議等を行った。また、協会事業の説明会を下記のとおり開催した。

ブロック区分	開催日	開催場所
北海道	R1. 6. 19	北海道札幌市 かでる2.7(道民活動センター)
東北	R1. 6. 18	宮城県仙台市 TKPガーデンシティ仙台西口
関東	R1. 6. 13	東京都港区 BMT貸会議室
中部	R1. 7. 2	愛知県名古屋市 名古屋ダイヤビル会議室
関西	R1. 6. 25	大阪府大阪市 大阪U教室
中国・四国	R1. 6. 26	岡山県岡山市 岡山コンベンションセンター
九州	R1. 6. 27	福岡県福岡市 博多バスターミナル第9ホール

### ③ 災害等による風評被害払拭の支援

### ④ 観光地緊急支援事業

災害等で被害を受けた地域に関する情報などを必要に応じて、協会ホームページ・「観るナビ」サイト、メールマガジンなどによる周知を行うほか、必要に応じた事業を実施する。

## 7. 支部事業（一般事業、全国広域観光振興事業）

当協会の全国的なネットワークを構成する北海道、東北、関東、中部、関西、中国、四国、九州及び沖縄の9ブロックが、全国事業と連携を取りつつ、当該ブロックの観光振興にとって効果的な事業を自ら企画・立案して実施する。